

2024年8月9日

第76期(2025年3月期)
第1 四半期決算説明資料



スタンダード 9367

当社グループについて

商社 食品メーカー 鉄鋼メーカー 化学品メーカー 量販店 倉庫業者 等のお客様

大東港運グループ

国内

 **大東港運株式会社**

(創業 1957年12月)
輸出入貨物取扱・鉄鋼物流・不動産賃貸 等

海外

連結子会社

大東運輸倉庫(株)
陸上運送・倉庫・
不動産賃貸

丸田運輸倉庫(株)
海上コンテナ運送
トラック運送

**大東港運(江陰)
儲運有限公司**
倉庫

中国

FDロジスティクス(株)
海上コンテナ運送

(株)眞榮ロジ
海上コンテナ運送

Ever Glory Logistics Pte.Ltd.
運送・倉庫・
フレイトフォワーディング

シンガポール

HACCP



(株)水文
白えびの
買付・加工・卸売

ダイトウ保険センター(株)
損害保険代理店
※非連結子会社

DB CORPORATION
エージェン業務(貨物・船)
※持分法適用関連会社

韓国

2025年3月期1st-Qの環境

高水準の企業収益を背景とした設備投資を中心に緩やかな回復の動き



・ 景気足踏み



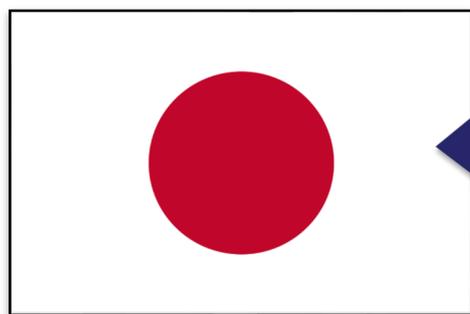
・ 不動産市況の低迷



・ 個人消費において
弱い動き

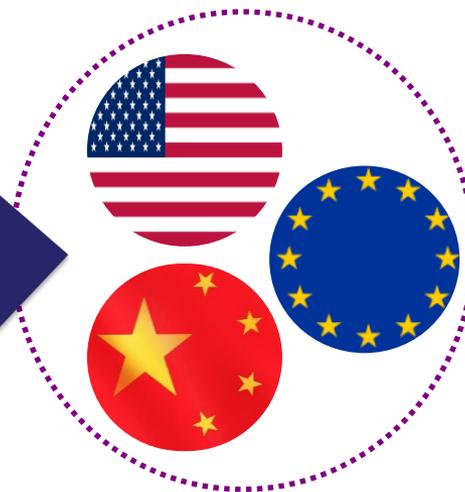


・ 設備投資や
個人消費堅調推移



輸入

輸出



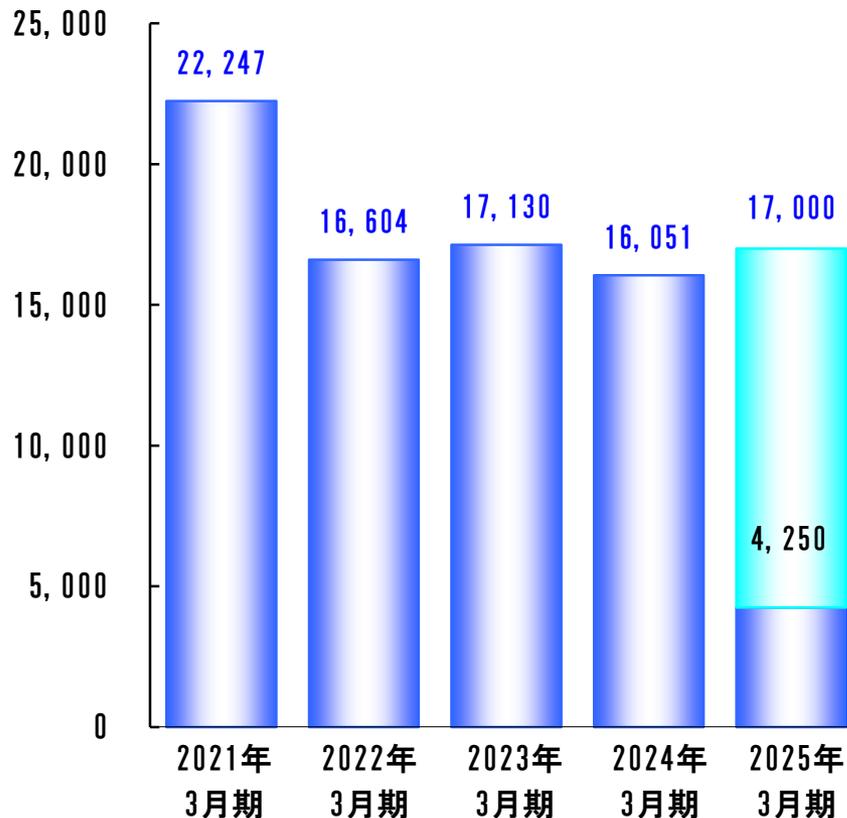
輸入：電算機類を中心に横ばい

輸出：自動車関連を中心に横ばい

連結業績の推移

営業収益 (左目盛)

(単位：百万円)



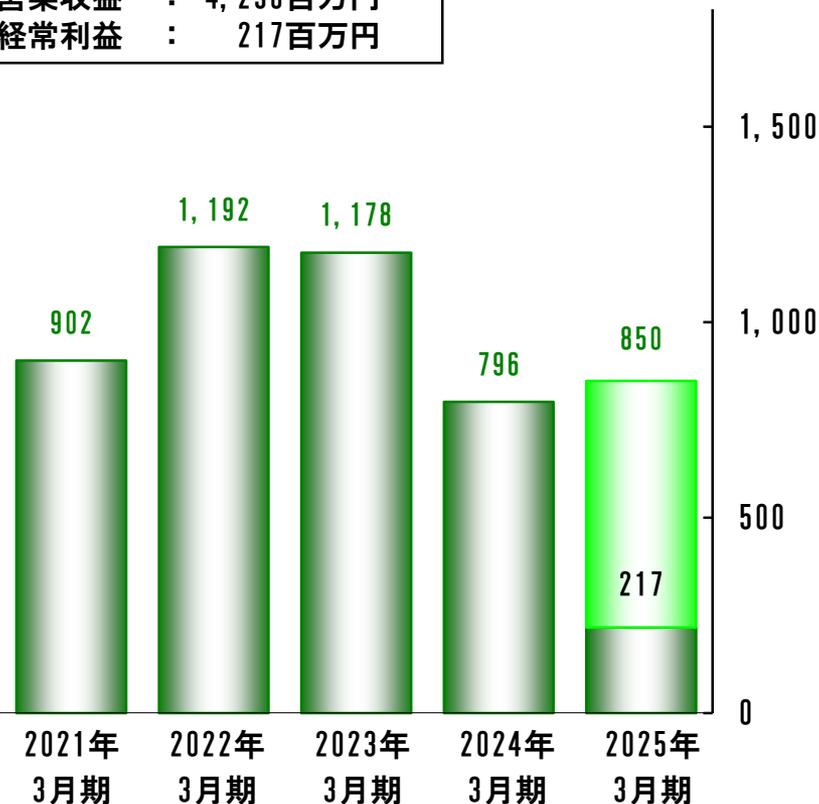
経常利益 (右目盛)

(単位：百万円)

2025年3月期第1四半期

営業収益 : 4,250百万円

経常利益 : 217百万円



※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

セグメント別営業収益

輸出入貨物取扱事業

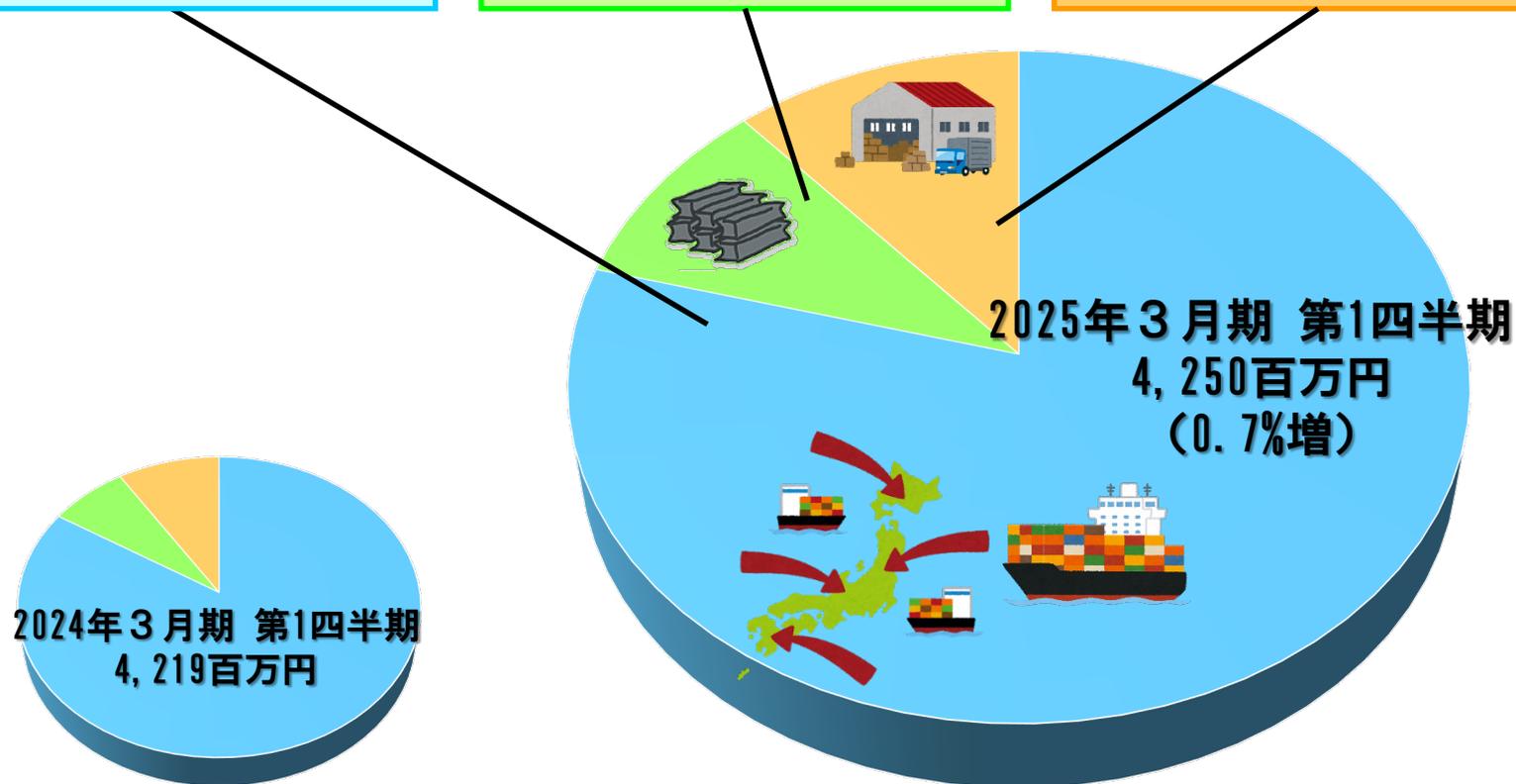
営業収益：3,207百万円
前年同期間比：+4百万円
(0.1%増)

鉄鋼物流事業

営業収益：498百万円
前年同期間比：+18百万円
(3.8%増)

その他事業

営業収益：543百万円
前年同期間比：+8百万円
(1.5%増)



業務別・取扱品目別連結営業収益

連結業績

営業収益：4,250百万円 前年同期間比：+30百万円（0.7%増）

輸出入貨物取扱事業

営業収益：3,207百万円
前年同期間比：+4百万円
（0.1%増）

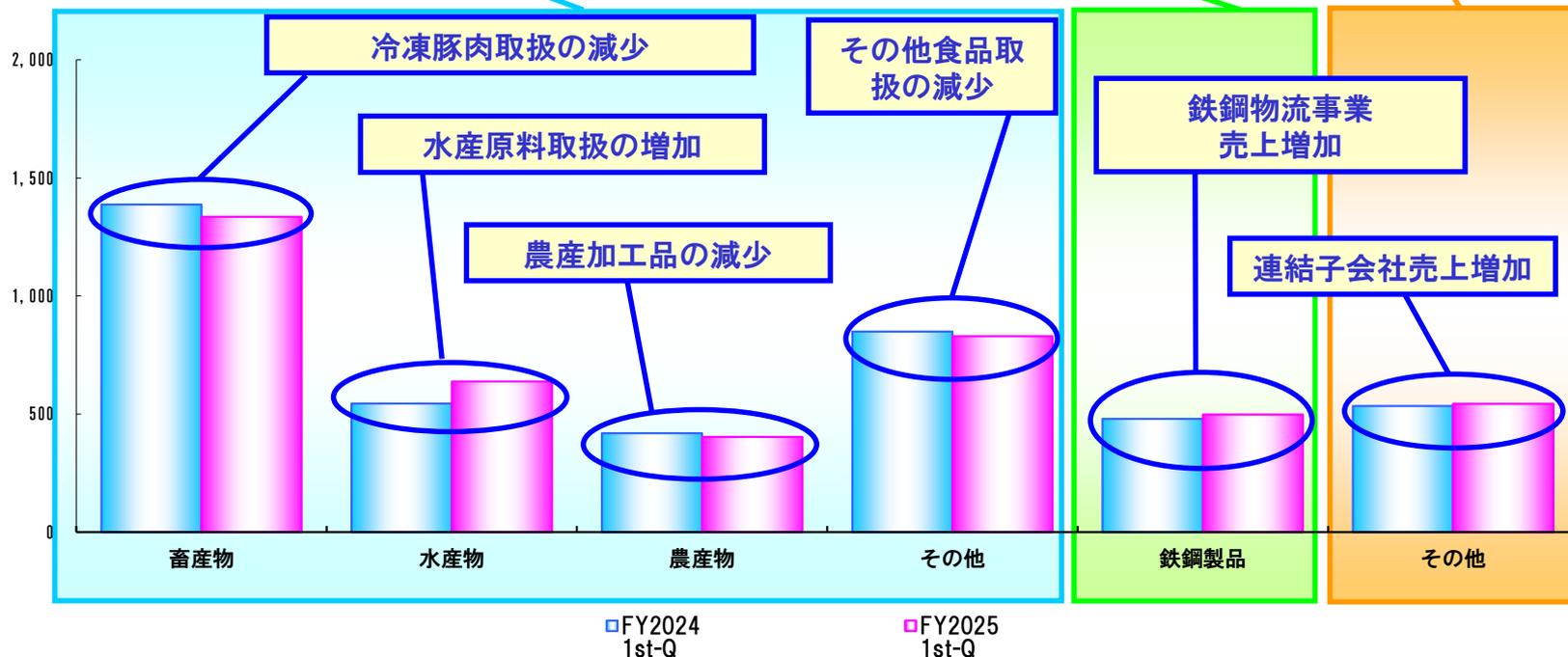
鉄鋼物流事業

営業収益：498百万円
前年同期間比：+18百万円
（3.8%増）

その他事業

営業収益：543百万円
前年同期間比：+8百万円
（1.5%増）

（単位：百万円）



連結業績の総括

連結業績の総括

営業収益は、輸出入貨物取扱・鉄鋼物流事業・その他事業の取扱が増加したため、増収となった。利益率の低下、建物・重機等メンテナンス費用増加により営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となった。

		2024年 3月期 1st-Q	2025年 3月期 1st-Q	増減	%	主な要因 (単位：百万円)	
営業収益	輸出入貨物取扱	畜産物	1,387	1,335	▲52	▲3.8	冷凍豚肉取扱の減少
		水産物	545	638	+92	+17.0	水産原料取扱の増加
		農産物	419	403	▲16	▲4.0	農産加工品の減少
		その他	850	830	▲19	▲2.3	その他食品取扱の減少
		計	3,203	3,207	+4	+0.1	
		鉄鋼物流	480	498	+18	+3.8	鉄鋼物流事業売上増加
		その他	535	543	+8	+1.5	連結子会社売上増加
		合計	4,219	4,250	+30	+0.7	
		営業利益	223	178	▲44	▲20.1	利益率の低下、建物・重機等メンテナンス費用増加により減益
		経常利益	262	217	▲44	▲17.0	
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	173	140	▲32	▲18.7		

四半期連結業績の推移（累計）

（単位：百万円）

			2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
			1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期
営業収益	輸出入貨物取扱	畜産物	1,359	2,633	3,838	4,955	1,387	2,561	3,733	4,846	1,335			
		水産物	564	1,211	1,829	2,339	545	1,100	1,671	2,178	638			
		農産物	443	857	1,305	1,674	419	820	1,199	1,533	403			
		その他	1,074	2,157	3,241	4,150	850	1,706	2,676	3,490	830			
		計	3,442	6,861	10,215	13,119	3,203	6,189	9,280	12,049	3,207			
	鉄鋼物流	407	828	1,316	1,799	480	974	1,452	1,883	498				
	その他	497	1,028	1,628	2,211	535	1,060	1,612	2,117	543				
	合計	4,346	8,718	13,160	17,130	4,219	8,224	12,345	16,051	4,250				
営業利益			315	589	898	1,038	223	393	589	641	178			
経常利益			344	635	1,045	1,178	262	457	726	796	217			
親会社株主に帰属する 四半期純利益 または当期純利益			231	427	702	783	173	279	485	534	140			

連結貸借対照表の総括

(単位：百万円)

		2024年 3月期 期末	2025年 3月期 1st-Q	増減	主な要因
資 産	流動資産	8,414	8,385	▲29	現金及び預金 ▲487 受取手形及び営業未収入金 +192 関税等立替金 +187 前払費用 +64
	固定資産	6,322	6,240	▲81	有形固定資産 ▲16 繰延税金資産 ▲50
	合計	14,736	14,625	▲111	
負 債	流動負債	3,258	3,268	+10	営業未払金 +119 賞与引当金 ▲130
	固定負債	2,313	2,146	▲167	長期借入金 ▲153
	合計	5,571	5,414	▲156	
純資産		9,165	9,210	+45	利益剰余金 +46

※2024年3月期 自己資本比率61.1% (非支配株主持分を除いて計算)

※2024年6月期 自己資本比率61.9% (非支配株主持分を除いて計算)

四半期連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

		2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
		1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末
資 産	流動資産	7,131	7,871	8,240	7,866	7,539	8,018	7,922	8,414	8,385			
	固定資産	5,862	6,147	5,965	6,254	6,365	6,387	6,315	6,322	6,240			
	合 計	12,993	14,019	14,205	14,120	13,905	14,405	14,238	14,736	14,625			
負 債	流動負債	3,212	3,598	3,444	3,410	3,189	3,317	3,179	3,258	3,268			
	固定負債	1,944	2,334	2,332	2,122	2,031	2,279	2,150	2,313	2,146			
	合 計	5,156	5,933	5,777	5,533	5,220	5,596	5,330	5,571	5,414			
純 資 産		7,836	8,086	8,427	8,587	8,684	8,809	8,908	9,165	9,210			

Be Sustainable ~サステナブルを目指して~

基本理念・『「ありがとう」にありがとう』のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく、第8次中期経営計画2023-2025を実行します。

100年企業
に向かって

2017

第6次中期経営計画

Diversification 変化による進化

- ・ 営業力強化
- ・ 生産性向上
- ・ 事業拡大

2020

第7次中期経営計画

Develop inherent value 独自の価値創造

- ・ コア事業の拡大と基盤強化
- ・ 物流インフラ事業の拡充
- ・ 人材育成の高度化
- ・ グループ全体成長

2023

第8次中期経営計画

Be Sustainable サステナブルを目指して

- ・ 持続的価値の拡大
- ・ 営業組織力・人材力・IT力の強化
- ・ 環境課題・社会課題に配慮した事業推進
- ・ グループの成長と発展

骨子

当社グループを取巻く環境が急速に変化し、価値観が多様化していく中で、成長戦略と事業を通じた社会貢献の実践による持続的成長を実現するため、以下の4骨子から成る中期経営計画を策定しました。

I	持続的価値の拡大	コア事業の更なる拡大と新たな成長へ向けた派生事業領域への挑戦
II	営業組織力・人財力・IT力の強化	営業力向上による付加価値提供力の強化、人・ITの連携による生産性の向上
III	環境課題・社会課題に配慮した事業推進	事業を通じた環境課題と地域社会への貢献
IV	グループの成長と発展	グループ各社の業容拡大とシナジー強化

通期の連結業績予想について

2025年3月期 連結業績予想について

(単位：百万円)

	2024年 3月期 通期	2025年 3月期 通期予想	増減	説明
営業収益	16,051	17,000	+948	<p>当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーに加え、資本コストと株価をより一段と意識した経営に努め、第8次中期経営計画「Be Sustainable ～サステナブルを目指して～」(2023年度～2025年度)に掲げた重点施策を実行し、持続的な成長と収益性の向上を図ります。</p> <p>これら施策の推進により、当社グループは、中長期的に資本コストを上回る資本収益性を達成し、社会および市場から選ばれ続ける企業グループを目指します。</p>
営業利益	641	750	+108	
経常利益	796	850	+53	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	534	580	+45	

配当金について

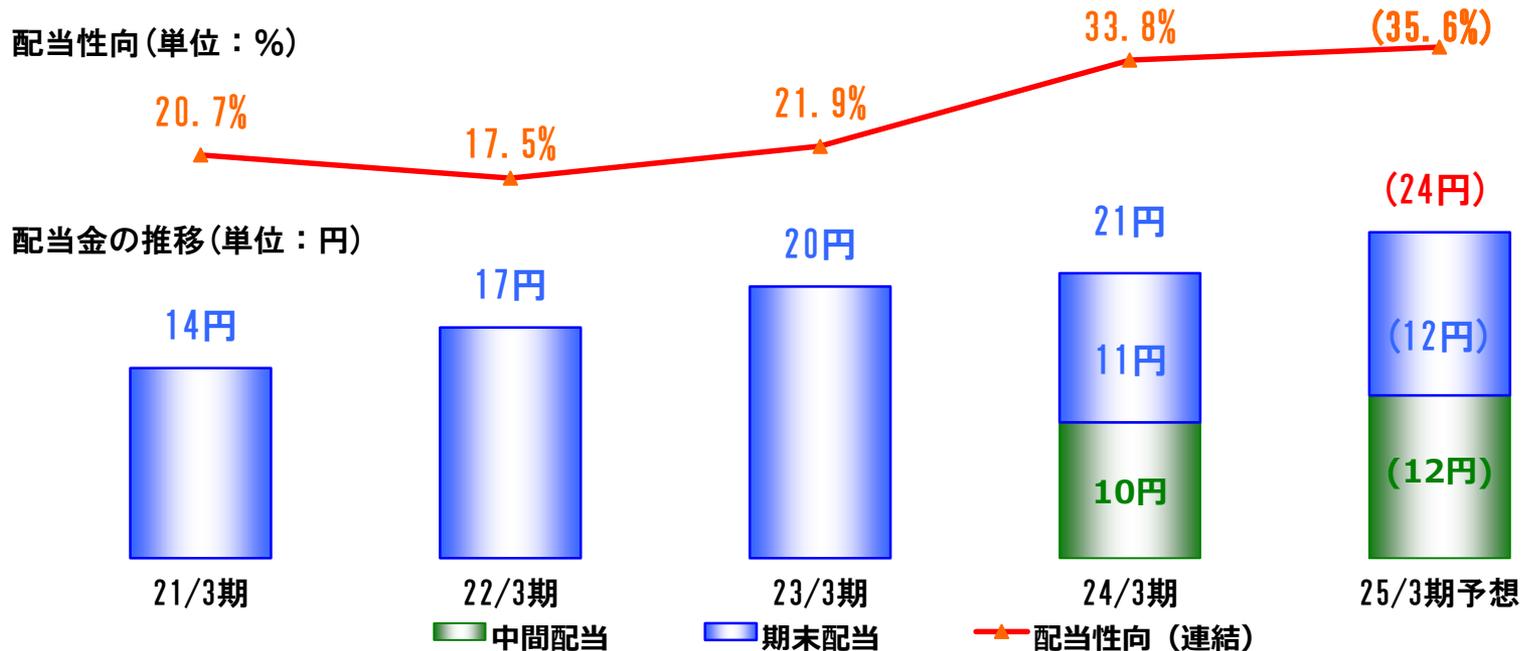
1株当たり配当金・配当性向（連結）

当社は、株主の皆様への長期的な利益還元を重要な課題であると認識し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

配当については、中長期的視点での企業価値向上のために必要な事業投資を継続したうえで、1株当たり年額20円を下限とし、各事業年度の収益力向上を考慮しつつ、配当性向30%程度を目安として実施します。

中間配当及び期末配当の年2回実施することを基本方針といたします。

24年3月期から配当を年1回→年2回に変更



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問合せ先

大東港運株式会社

総務部総務課

TEL : 03-5476-9701

E-mail : soumu@daito-koun.co.jp

URL : <https://www.daito-koun.co.jp/>